

るは彦希世なり、富士耳聞身未遊、畫圖相對與悠々、東關千里吟輶上、晴雪趁人三五州、といへるは沅南江なり、五須彌外有須彌、呼作士峯吁是誰、六月雪飛寒徹骨、擘開芥子欲藏之、といへるは澤天隱なり、莫言北闕隔東關、富士朝々如對顏四海、一家皆帝力、千秋白雪御前山、といへるは三橫川なり、士峯秀出海之東、名在景濂詩句中、若把白鷗論白雪、扶桑六十一雕籠、といへるは九萬里なり、天台四萬八千丈、若在吾邦立下風、といへるは瑾雪嶺なり、工拙は具眼の人の知る事なれば、書なれば置き侍るなり、其外騷人墨客の詠じもさせるはあるまじきにや、此比人の作れるとて、青天忽見素羅笠擔中、といふ句を聞きはんべるぞ珍らしきにや、我輩の今更口をひらかむ事は人の涎を舐て事あたらしきやうなれど、さりとていはざらんも懶惰のおそれあれば、聊申つゝけ侍る、かの不與浮雲齊、といへるは此たかきにや、嵌空大始、雪とあるは此雪にや、衆山之山崩巖なるを知るは、此山に登りての事にや、天下をすこしきに歩する人もあるべきにや、蓮花は早く崆峒は薄しといへるも、此山に對しての事にや、

一山高出衆峯巔、炎裏雪冰雲上烟、大古若同仁者樂、蓬萊何必覓神仙、

〔羅山文集七十〕我朝富士山之名播于異域者、義楚六帖云、日本國最高山號富士、一曰蓬萊、秦時徐福來此、又宋濂日東曲有富士山絕句、而我國沙門津絕海入大明、明太祖問徐福事、津賦絕句謂徐福祠在熊野又南禪寺僧岩惟肖謂、凡指蓬萊者三處、一曰富士、一曰熊野、一曰尾州熱田、

〔義楚六帖二十一〕日本國

東北千餘里、有山名富士、亦名蓬萊、其山峻、三面是海、一朧上聳、頂有火煙、日中上有諸寶流下、夜即却上、常聞音樂、徐福止此謂蓬萊、至今子孫皆曰秦氏、彼國古今無侵奪者、龍神報護、法不殺人、爲過者、配在犯人島、其他靈境名山、不及一二記之、

〔異稱日本傳中三〕宋景濂蘿山集第四